



リハビリチーム養成のための摂食嚥下研修会 ステップⅠ

対象 コメディカル

定員 56名

プログラム

研修コード **A13-1**

開催日時 令和6年8月4日(日) ①10:00～11:00 ②11:05～12:05
③13:10～14:10 ④14:15～15:15

申込期間 令和6年5月27日(月)～7月22日(月)

① 摂食嚥下障害を学ぶための基礎知識

日本大学 歯学部 摂食嚥下機能療法学講座 准教授 **中山 洸利**

摂食嚥下機能のメカニズムと摂食嚥下機能を低下させる要因について、今回は加齢、サルコペニア、脳血管疾患、認知症について症例映像を供覧し解説します。

② 摂食嚥下障害の精査と診断、評価について

東京都リハビリテーション病院 研究担当部長 **武原 格**

摂食嚥下障害患者の診察時に確認していることを中心に解説し、その後多くのVF、VE動画を供覧します。

③ 摂食嚥下障害を多職種かつ多面的視点で支える

東京湾岸リハビリテーション病院 院長 **近藤 国嗣**

入院中に実施されていた治療と対応を在宅へシームレスに移行するためには家族指導だけでなく、医療機関と介護事業所との情報共有を含めた地域連携も重要です。摂食嚥下障害に対する多面的対応の実際と地域連携の実際について理解を深めます。

④ 嚥下リハビリテーションにおけるリスク管理

調布東山病院 リハビリテーション科 室長 **大熊 るり**

嚥下リハビリを行う際に考慮する必要のあるリスクとして、誤嚥性肺炎・窒息、脱水・栄養障害があります。それぞれのリスクと、食べるためのアプローチ方法を検討します。